

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp **98号**

2016. 7. 20 (No.98)
東京公害患者と家族の会
文京区大塚4-2-11
恩田ビル304
TEL03-6912-1656 FAX03-6304-1418
ぜん息110番
03-6912-1657

東京都道路緑化交渉報告

7月22日(金)年

一度の、東京都建設局公園緑地部との交渉が1時30分〜16時で行われました。私たち原告団(患者会)が都内道路沿道の緑化について要望を出し、東京都が検討・実施する内容について確認・さらなる要望を意見交流します。

緑化に特化して

道路沿道の緑化について、年一度の「道路連絡会」年一回の「準備会」でも要望を出しますが、東京都建設局公園緑地部との交渉は緑化についてさらに細かく確認されるので、樹木についての知識も必要になり、勉強

になります。

街路樹100万本達成

街路樹担当課長から、和解除項に基づく「街路樹の充実」は平成20〜27年度までに100万本の植樹達成(植樹後に枯れた樹木・植物も含む)との報告がありました。報告がありましたが、「実感できない」と各支部からの参加者から声がありました。

ではなぜ、東京都の努力と私たちの実感が食い違っているのでしょうか?
参加者の意見Q
東京都の意見A

Q① 植樹が済んだ道路沿道を見ても、まばらに植わっている

様子が、何ともさみしい。

A① 歩道の幅員を2m以上に保たなければならぬので、植樹が大きい取れないことにより、大きな樹木は植えられない。密度はないかも。
Q② 狭い空間でも植樹可能な樹木や植物で密度を増す努力をしてほしい。

A② 場所によってはロードトレリス(ガードレールをネット状にしたものやフェンスに植物を這わせる)等で対応している。

Q③ 沿道緑化の目的を考えると、一年を通じて緑が保てる、常緑樹に植え替えるよう要望しているが、落葉樹を植樹してい



全体への回答
植樹に関する基準

る箇所もある。
A③ 沿道住民からの要望が強いところは花の咲く落葉樹など植栽する必要がある。

の見直しについて現在在予定はありませんが、街路樹の樹冠を拡大し緑陰を増やすことにより、大気浄化や夏の暑さ対策に貢献できることを考えています。平成20〜27年度「街路樹の充実」実施箇所一覧では(西東京市・新青梅街道北原交差点以東)にエンジュ・カツラ238本を常緑ヤマボウシ245本に植え替え済みが、一ヶ所でした。「大径木再生大作戦」(防災・延焼遮断)の実施箇所336は地図に記されると大きな幹線道路の一部に止まっています。
※大気浄化・遮音・地球温暖化(CO2)防止・緑陰・景観向上防災(延焼遮断)等が街路樹の効果!

これからの予定とお知らせ

- 7月**
31(日) **東京都都知事選挙投票日・開票日**
全国患者会全国大会一日目(名古屋)13:00〜
- 8月**
1(月)全国患者会全国大会二日目
2(火) 公健法「須藤のぶ」さん異議申し立て棄却問題文京区要請
3(水) 環境省「勉強会」13:00〜
4(木) あおぞら連絡会理事会(地評地下)18:30〜
7(日) **患者会第6回拡大幹事会14:00〜(文京シビック4F)**
8(月) 弁護士会議 10:00〜
12(火) 新宿区申し入れ(緑化・自転車ネットワーク)
19(金) 認定制度問題委員会(対策委員会)13:30〜
22(月) 弁護士会議 18:00〜
24(水) 事務局会議 10:00〜
〃第17回薬害根絶デー 厚労省前リレートーク
25(木) ユズリハ8月号発行 10:00〜
公害対策まちづくり委員会 13:30〜
26(金)〜8/28(日) 九州現地調査(有明・水俣)

『緊急拡大幹事会』

日時 8月7日(日)14:00〜16:00
会場 文京シビック4階ホール
内容 全国公害患者の会連合会第19回大会
報告・意見交流(終了後に懇親会予定)

7月31日投開票 東京都都知事選挙

私たち東京公害患者と家族の会から、主な都知事候補に公開質問状をおくりました。現在のところ鳥越俊太郎候補から回答がありました。回答の詳細はホームページまたは事務局へ
質問の内容
1. 「東京都大気汚染医療費助成」の復活
2. 道路公害対策・沿道緑化・自転車ネットワーク

医療券更新手続き忘れずに!

誕生日が近づいたら注意

2年に一度、お誕生月の2か月前には、更新手続きのための書類が送られてきます。書類が届いたらできるだけ早く手続きをしてください。

- 更新を忘れると「失効」します。医療費が全て自己負担になります。
- かかりつけの医師に、主治医診断書を書いてもらう。
- 保険証のコピーを忘れずに。
- わからない場合は、遠慮なく患者会に連絡してください。

署名にご協力お願いいたします

公害総行動で助け合い
いつもありがとうございます。今月号のユズリハに署名を同封させていただきました。ご家族のお名前やご協力いただける方のお名前のご記入をお願いいたします。ご記入いただいた用紙は、

- 返信用の封筒に入れお送りください。(切手はカンパでお願いいたします)
 - 終わらない水俣病被害の解明を要求します
 - 福島原発さいたま訴訟の公正な判決を求める
- どうかよろしくお願いいたします。

全国公害患者の会連合会 幹事会in名古屋



7月24日(日)名古屋法律事務所との協力で、会議室を借り、13時から幹事会が行われました。

7月31日(日)〜8月1日(月)の二日間で行われる「全国公害患者の会連合会第19回大会」に向けて提起する議案や確認事項が主な議題でした。

各地の患者会が40年以上の時間の経過とともに、高齢化が目立ち、会員数も年々減っている中で、大会ですが、全国から代議員・評議員合わせて約50名ほどの参加で報告・討議されます。

大会は2年に一度開かれるので、これからの2年間の方針を決めることとなります。大会後の次号8月号のユズリハで大会の報告をしたいと思っております。

第19回大会の成功をめざして

- 大会参加予定者
- 事務局長 増田重美
 - 板橋支部 秋元正雄
 - 三多摩支部 石川牧子
 - 足立支部 鈴木十紀子
 - 中野・杉並 進藤光子



文京支部 高田悦男
世田谷支部 国師英明
豊島支部 福島寿人
江東・墨田 田島高則
中央支部 浜島稔
事務局 牟田静

うれしい参加がありました

体調不良のため、しばらく幹事会に出席できなかつた、四日市患者会の塚田事務局長が、奥様のサポートでおいでになりました。

四日市ぜん息は大気汚染公害の原点

一昨年(日26年)の3月に四日市公害資料館が完成しました。日本の四大公害(水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病・に続き四日市ぜん息)の資料館ができ、やっとな多くの人に知ってもらおうことに繋がりました。

また、昭和52年に建立された慰霊碑を前に同年より慰霊祭が開催される。平成23年より田中市長らが参列、平成26からは四日市市が慰霊祭を共催。塚田さんは、四日市市の発展の陰に、公害で苦しんだ市民がいたことを伝える数少ない生き証人になられました。

※昭和47年「四日市公害裁判」で原告勝訴。これを契機に「公害健康被害補償法」施行され、全国の患者を救済



全国患者実態アンケート掲載 月刊保団連

月刊保団連(全国保険医団体連合会)で報告されました



論考

大気汚染被害は終わっていない
——大気汚染対策の陰でつづく被害者の放置——

おざき ひろなお
●東京経済大学准教授
尾崎 寛直

東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得。2004年より東京経済大学経済学部講師を経て現職。著書に『西淀川公害の40年』(ミネルヴァ書房、2013年)ほか。日下、公害研究の観点から原発事故や被災者への問題にも取り組む。

- ◆ 昨今の日本の大気汚染被害は、大気汚染対策の進展による汚染の低減傾向と、ぜん息治療の進歩のなかで「見えにくく」なっているが、それは被害がなくなったことと同義ではない。
- ◆ 今なお症状のコントロールが利かず、「受診抑制」や薬の「節約」などをして病気と生活破壊の悪循環に陥る患者が少なからず存在する。
- ◆ 東京都の救済制度も風前のともしびとなり、国が制度創設に乗り出さねば結果的に社会的費用を増

被害者運動の成果と大気汚染対策

日本の大気汚染は、昨今話題の中国の様子を想起させる激甚な汚染状況からすれば、劇的に改善した。その大きな原因となったのが、健康被害を負った被害者と支援者らによる公害防止運動と補償を求める裁判である。

煙突から煤煙を吐き出す工場群を被告にした四日市公害裁判にはじまり、1980年以降大気汚染の「主役」となる自動車排ガス汚染をターゲットにした大型の大気汚染訴訟が続き、公害対策に大きな影響を及ぼしてきた。公害対策が進み、S P M (浮遊粒子状) 等の汚染レベルの低下は

被害の実情と救済制度

これまで長いあいだの大気汚染に起因して、都市部の幹線道路周辺を中心に新たな被害者が生み出されている。国による救済「公害健康被害補償法」1973年制定・11万人救済 1988年新規認定廃止。

東京都による救済「東京都大気汚染医療費助成」2008年開始・9万人救済・2015年新規認定廃止。

新たな救済制度が必要

表 ぜん息等にもなる「マイナス経験」

問13 ぜん息等が原因で以下のような経験をしたことがありますか。(複数回答) N=209

1. 医療費の負担を減らすため、我慢して病院に行く回数を減らした	52人 (24.9%)
2. 病院・薬局でもらった薬を医師の指示通りに飲まずに、節約した	43人 (20.6%)
3. 仕事に悪影響があり、収入が減った	48人 (23.0%)
4. 失業した	13人 (6.2%)
5. 生活保護の申請をした	9人 (4.3%)
6. 人生設計がくづった	40人 (19.1%)
7. 家族関係が悪化した	18人 (8.6%)
8. その他(自由記述)	18人 (8.6%)

(出所：全国公害患者の会連合会によるアンケート調査より)

全国ぜん息患者アンケートの分析から医療費助成を受けていない患者の実態です。